平成３０年度

社会福祉法人　阿闍羅会

障害福祉サービス事業所
【生活介護事業】
【就労支援Ｂ型事業】

ワークキャンパス大鰐

事　業　報　告

令和元年５月２４日作成

住　所：青森県南津軽郡大鰐町大字三ツ目内
字水沢出口１１７番１
電　話：０１７２－４８－２４２６
ＦＡＸ：０１７２－４８－２４８３

目次

〈Ⅰ〉法人 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1　理事会・評議員会等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　役員及び評議員の退任と選任 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3　共同生活援助事業グループホームつつじの廃止 ・・・・・・・・・ 1
4　永年勤続表彰 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

〈Ⅱ〉施設経営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1　職員行動目標に関する報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2　職員の入退職 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3　しいたけハウス建設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4　自己評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（1）評価結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（2）分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

〈Ⅲ〉支援内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
1　生活支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2　生活介護 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
3　作業支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
（1）しいたけ事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
（2）花野菜事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
4　保健支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
5　余暇活動支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
（1）行事等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
（2）利用者会活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４

〈Ⅳ〉給食 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９
〈Ⅴ〉防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０
〈Ⅵ〉広報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０
〈Ⅶ〉会議 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１
〈Ⅷ〉研修 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４
〈Ⅸ〉苦情解決 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６
〈Ⅹ〉地域生活支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２７
〈Ⅺ〉共同受注窓口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２８
〈Ⅻ〉安全巡視（虐待防止委員会） ・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９

〈Ⅰ〉 法人（担当：田中大生）

1　理事会・評議員会等

年月日（曜日）	事業	場所	参加者
平成３０年　４月２７日（金）	第１回　理事会	ワークキャンパス大鰐	理事　５名 監事　１名
５月２２日（火）	監査会	ワークキャンパス大鰐 ワークショップ大鰐	監事　２名
５月２８日（金）	第２回　理事会	ワークキャンパス大鰐	理事　６名 監事　１名
６月１５日（金）	第１回　評議員会	ワークキャンパス大鰐	評議員５名
９月２６日（水）	第３回　理事会	ワークキャンパス大鰐	理事　６名 監事　２名
９月２７日（木）	第２回　評議員会	ワークキャンパス大鰐	評議員６名
１１月１３日（火）	第４回　理事会	ワークキャンパス大鰐	理事　５名 監事　２名
１１月１４日（水）	評議員選任・解任委員会	ワークショップ大鰐	委員　３名
１１月１４日（水）	第３回　評議員会	ワークキャンパス大鰐	評議員６名
平成３１年　３月１９日（火）	第５回　理事会	ワークキャンパス大鰐	理事　６名 監事　２名
３月２６日（火）	第４回　評議員会	ワークキャンパス大鰐	評議員５名

2　役員及び評議員の退任と選任

平成３０年　９月１９日　評議員 中島謙一 死去による退任
　　１１月１４日　評議員 工藤美生 選任及び就任
平成３１年　３月　９日　評議員 外崎俊一 死去による退任
　　１９日　監事 佐藤眞一 選任（就任４月１日）
　　３１日　監事 笹田和夫 ワークキャンパス大鰐入職による退任
令和　元年　５月２９日　評議員 山口守一 選任予定

3　共同生活援助事業グループホームつつじの廃止

建物の老朽化と利用基部御者不在により、平成２９年９月１日に休止した当該事業を、平成３０年１０月３１日を以て廃止した。

4　永年勤続表彰

（１）日時　　平成３０年１１月２３日（土）勤労感謝の日　１１：００～１３：００
（２）場所　　不二やホテル
（３）表彰
ア　社会福祉法人阿闍羅会就業規則第４３条（表彰）第１項の規定により、下表の５名に

対し永年勤続（平成３０年４月１日現在で在職１０年以上）表彰。

イ　法人創立２０周年にあたり、勤続１０年以上の役員（３名）、委託医（１名）及び非常勤職員等（５名）に対して感謝状を贈呈。（次回は、2027年 創立30周年時）

＜被表彰者等一覧＞

職　名	氏　名	採用(H)	勤務年数	備　考
理事・評議員	中島　謙一	12. 12	15年 8か月	感謝状
理事・評議員	相馬　康穫	19. 4	11年 0か月	感謝状
評議員	岩淵　安孝	19. 4.	11年 0か月	感謝状

職　名	氏　名	採用(H)	勤務年数	備　考
施設長	佐藤　直幸	17. 9. 1	12年 7か月	表彰状
支援課長	中平　恵美	19.12.3	10年 3か月	表彰状
生活支援・職業指導員	竹内　友紀	19. 6. 1	10年 10か月	表彰状
支援主任	中嶋　綾子	19. 1. 1	11年 3か月	表彰状
職業指導員	幸山　稚子	18.12. 1	11年 4か月	表彰状

職　名	氏　名	採用(H)	勤務年数	備　考
委託医	小山内幹浩	9. 4. 1	21年 0か月	感謝状
職業指導員（非）	神　　則男	13. 4. 1	17年 0か月	感謝状
調　理　員（非）	三浦　節美	18. 5.20	11年 10か月	感謝状
職業指導員（非）	小林　　一	18.12. 8	11年 3か月	感謝状
職業指導員（非）	山中　美雪	19.12. 1	10年 4か月	感謝状
ＧＨ世話人（非）	中島　敏子	12.10. 1	17年 6か月	感謝状

※　勤務年数は、平成３０年４月１日現在

〈Ⅱ〉施設経営

1　職員行動目標に関する報告（担当：白石安英）

（１）利用者の支援

平成２９年度の課題であったフェイスシートの見直しは実施できなかったため、引き続き平成３０年度の課題とした。平成３０年９月までに新フェイスシートの書式変更が完了し、改定アセスメントシート（生活領域・就労領域に分割）への入力、サービス管理責任者の内容確認を経て、平成３０年１０月の三者面談において、保護者への正誤確認と未記入か所の追記を実施した。このことにより、平成３１年度に向けた利用者支援の基礎である個別支援計画の見直しを実施できた。

（２）仕事（作業）面の支援

平成３０年１０月までにしいたけハウス２棟新築、C ハウス１棟を移設し、法人全体でのしいたけ生産の基盤整備が完了した。ワークキャンパス大鰐は、平成３０年１

２月からの収穫開始に向けその準備と品質の更なる向上に向けて取り組んだ。部品組立では、作業の正確性向上のための支援に取り組んだ。また、ワークショップ大鰐では、利用者・職員ともに次年度のしいたけの本格生産に向け、作業の習熟度向上に取り組んだ。長ネギの生産については、しいたけ一本化に向け今年度で生産を終了する。その他、受注作業（リサイクル、縫製、タオル印刷等）については、利用者の実態や状況に合わせて安定して作業に取り組めるようスキルアップとともに精神面でのフォローもしながら支援に取り組んだ。

（３）地域生活（グループホーム）の支援

グループホームの世話人・宿直員のスキルアップに向けた取り組みは、昨年度より研修案内等により研修参加を促してきたが、変則的な勤務であることや設定時間が制限される状況等により参加実績は中々伸びなかった。このような課題解決のため、グループホーム関係者会議の中でミニ研修やグループホーム毎の話し合いの場を設定するなどして、具体的な問題解決に向けた取り組みを実施した。課長・サービス管理責任者の定期的な訪問は、勤務上難しい側面があったが、問題が予想されるケースの速やかな対応やバックアップ施設との情報共有・連携推進は、状況に応じて進めることができた。

（４）職場の環境

平成２９年度から取り組んでいる「ストレスチェック（ストレス簡易調査）」を今年度も実施し、内容の精査により職員のストレス状況を把握し、職場環境の改善を図るとともに個別面談等により職員個々の勤務状況を把握することにより働きやすい職場環境作りに努めている。

２　職員の入退職（担当：白石安英）

（１）入　職

平成３１年　３月　１日　世話人　渡邊亜希子
　　３月１１日　世話人　長内とし子
　　４月　１日　ワークキャンパス大鰐　支援課長　笹田和夫

（２）退　職

平成３１年　３月２０日　職業指導員　石戸谷健
　　３月３１日　世話人　山内恵美子
　　３月３１日　世話人　棟方菜生子

３　しいたけハウス建設（担当：佐藤直幸）

青森銀行より融資を受け、地盤整備を（株）片山組に、しいたけハウス建設を（株）弘果物流に決め、平成３０年５月１５日、地盤整備及びハウス建築開始した。

当初予定をした新築ハウス２棟の他、追加工事を行い旧Ｃハウスの移設を実施。地盤整備及び新築ハウス２棟は施主検査の上、１０月１８日引き渡しを完了。旧Ｃハウス移設は、１１月２７日施主検査の上引き渡し完了した。

４　自己評価（担当：田中大生）

（１）評価結果

【共通評価基準】

Ⅰ　福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１　理念・基本方針

Ⅰ－１－（１）　理念、基本方針が確立・周知されている。			自己評価結果
1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b

Ⅰ－２　経営状況の把握

Ⅰ－２－（１）　経営環境の変化等に適切に対応している。			自己評価結果
2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a

Ⅰ－３　事業計画の策定

Ⅰ－３－（１）　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			自己評価結果
4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
Ⅰ－３－（２）　事業計画が適切に策定されている。			自己評価結果
6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
7	②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a

Ⅰ－４　福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

Ⅰ－４－（１）　質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			自己評価結果
8	①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
9	②	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a

Ⅱ　組織の運営管理

Ⅱ－１　管理者の責任とリーダーシップ

Ⅱ－１－（１）　管理者の責任が明確にされている。			自己評価結果
10	①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
Ⅱ－１－（２）　管理者のリーダーシップが発揮されている。			自己評価結果
12	①	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a

Ⅱ－２　福祉人材の確保・育成

Ⅱ－２－（１）　福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			自己評価結果
14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c
15	②	総合的な人事管理が行われている。	c
Ⅱ－２－（２）　職員の就業状況に配慮がなされている。			自己評価結果
16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
Ⅱ－２－（３）　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			自己評価結果
17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
Ⅱ－２－（４）　実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			自己評価結果
20	①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c

Ⅱ－３　運営の透明性の確保

Ⅱ－３－（１）　運営の透明性を確保するための取組が行われている。			自己評価結果
21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	c
22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a

Ⅱ－４　地域との交流、地域貢献

Ⅱ－４－（１）　地域との関係が適切に確保されている。			自己評価結果
23	①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
Ⅱ－４－（２）　関係機関との連携が確保されている。			自己評価結果
25	①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
Ⅱ－４－（３）　地域の福祉向上のための取組を行っている。			自己評価結果
26	①	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a
27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c

Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１　利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１）　利用者を尊重する姿勢が明示されている。			自己評価結果
28	①	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	②	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a

Ⅲ－１－（２）　福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			自己評価結果
30	①	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
31	②	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
32	③	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
Ⅲ－１－（３）　利用者満足の向上に努めている。			自己評価結果
33	①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
Ⅲ－１－（４）　利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			自己評価結果
34	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	c
35	②	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
36	③	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
Ⅲ－１－（５）　安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			自己評価結果
37	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
38	②	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
39	③	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	c

Ⅲ－２　福祉サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１）　提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			自己評価結果
40	①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ－２－（２）　適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			自己評価結果
42	①	アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a
43	②	定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅲ－２－（３）　福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			自己評価結果
44	①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化さている。	b
45	②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b

【内容評価基準】

A－１　利用者の尊重と権利擁護

A－１－（１）　自己決定の尊重			自己評価結果
A①	①	利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
A－１－（２）　権利侵害の防止等			自己評価結果
A②	①	利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a

A－２　生活支援

A－２－（１）　支援の基本			自己評価結果
A③	①	利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
A④	②	利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
A⑤	③	利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
A⑥	④	個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
A⑦	⑤	利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
A－２－（２）　日常的な生活支援			自己評価結果
A⑧	①	個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
A－２－（３）　生活環境			自己評価結果
A⑨	①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
A－２－（４）　機能訓練・生活訓練			自己評価結果
A⑩	①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
A－２－（５）　健康管理・医療的な支援			自己評価結果
A⑪	①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
A⑫	②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	c
A－２－（６）　社会参加、学習支援			自己評価結果
A⑬	①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
A－２－（７）　地域生活への移行と地域生活の支援			自己評価結果
A⑭	①	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
A－２－（８）　家族等との連携・交流と家族支援			自己評価結果
A⑮	①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a

~~A－３　発達支援~~

~~A－３－（１）　発達支援~~			~~自己評価結果~~
~~A⑯~~	~~①~~	~~子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。~~	~~c~~

A－４　就労支援

A－４－（１）　就労支援			自己評価結果
A⑰	①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a
A⑱	②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a
A⑲	③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a

（２）分析

ア　共通評価基準

理念・基本方針については、明文化され職員に周知されているが、わかりやすく説明された資料の作成と利用者や保護者への周知が図られていない。

経営状況の把握・事業計画の策定は、職員間では明確にされ適切に策定されているが、保護者や利用者には周知されていなかったため、事業計画書を利用者・保護者へ配布し、保護者会で説明した。（番号７評価結果ｃ→ａ）

福祉サービスの質の向上に向けた取り組みのひとつとして自己評価を行い、その結果に基づいた改善計画の策定とその取り組みにより改善された。（番号９評価結果ｃ→ａ）

組織の運営管理として管理者の責任とリーダーシップの項目は評価が良いが、人材確保や育成については、体制の整備も配慮もいまだ脆弱である。平成２９年度末に青森県保育・障害福祉サービス事業所等認証評価制度に参加宣言をした事により、その項目のひとつである「福祉人材育成の取組」について、社会保険労務士からの助言をもらい、取り組みを進めている。順次施行中。

運営の透明性と地域交流地域貢献については、取り組んでいるところと取り組んでいないところが分かれる。できる項目からひとつずつではあるが、今後の取り組みを必要とする。

適切な福祉サービスの実施として、基本的人権の尊重、プライバシー保護、権利擁護などはマニュアルの整備もされ取り組みがされている。しかし、まだ取り組まれていない部分がいくつかあり、福祉サービスの提供に関する説明に関する取り組みを次年度の課題とする。

サービスの質の確保についての取り組みは、実施方法が確立され、適切に計画が策定されている。すぐに取り組まなければならない問題は特にないが、記録方法とその管理を見直す。

イ　内容評価基準

利用者の尊重と権利擁護、生活面の支援、就労面での支援は十分に実施されていて、今後も継続していきたい。ちなみに当法人において児の支援を行っていない（対象外）ため、発達支援については評価しない。

（３）令和元年度事業計画書 計画内容

評価結果と分析・統括から、下記のとおり計画した。

ア　理念・基本方針の、わかりやすく説明された資料の作成と利用者や保護者への周知

イ　福祉人材の確保と育成に関する方針の確立並びに計画の策定及び周知

ウ－１　地域との関わり方について基本的な考え方を文書化

－２　活用できる社会資源や地域の情報収集並びに利用者や保護者への提供

エ　理念や基本方針、実施する福祉サービスの内容や福祉施設・事業所の特性等を紹介した資料を言葉づかいや写真・図・絵の使用等で誰にでも解りやすい内容で作成し、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置く

（４）取り組み担当者

ア　白石安英　　イ　佐藤直幸　　ウ　田中大生　　エ　中平恵美

〈Ⅲ〉支援内容

日常生活に必要な、基本的生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭におき、保護者や関係機関と情報共有しながら支援を行った。

〈Ⅲ〉－１　生活支援

①基本的習慣の定着

あいさつ、時間を守る、排泄、生理の手当て、入浴、衣類の着脱、衣類の調整、洗濯、洗濯した衣類のたたみ方、歯磨き、手洗い、うがい、指手のアルコール消毒、食事とその後始末、整理整頓、掃除などの支援を行った。

②コミュニケーションを図るための支援

・言語と受容と表出に関する支援を行った。
・パニックに対する本人及び周りの利用者への理解に関する支援を行った。
・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援を行った。

③行動に支障がある利用者に対する支援

・精神面及び身体面に関する理解とそれに関する支援を行った。
・強度行動障害への理解とそれに関する支援を行った。
・自閉症に対する理解とそれに関する支援を行った。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援

・奇数月に職員が安全巡視を行って危険な所を確認し改善した。
・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
・危険と思われる物（刃物、工具など）は職員室や施錠が出来る場所に保管した。
・ヒヤリハットの報告を情報共有し、未然に事故や怪我が起きないよう再発防止に努めた。

〈Ⅲ〉－２　生活介護

【生活介護】　　担当：中平　恵美、竹内　友紀

【年間作業収入　１，２２２，２５５円】　（税抜き　１，１３１，７１８）

○事業目的にあげるサービスを基にした内容のプログラムに沿って、生産活動、健康維持活動、余暇活動や同設される就労支援Ｂ型を利用されている方々との交流も大切にし、変化に富んだ楽しい時間を過ごしていただけるような工夫をし、個々のニーズに応じながら支援を行ってきた。次年度も利用者のニーズを伺いながら、利用者が楽しく喜びを感じていただき、利用者の尊敬を大切にし、可能性を引き出して自立を目指したい。

○利用者の体調・健康管理は毎月第１火曜日午後に医師の受診を実施した。医師の受診日以外は看護師によるバイタル測定を週２回実施し、体調の異変があった時はその都度対応してきた。次年度は今年度の反省点（バイタルを行う曜日や休んでいる利用者への配慮等）を含め、家族と医師とも連携しながら利用者の体調健康管理を徹底していく。

〈Ⅲ〉－３　作業支援

【就労継続支援Ｂ型】

担当：植田善久

平成３０年度は一人当たりの工賃を平均月額１０，５００円を目指したが、平均１０，４８３円となり目標金額を下回った。今年度も自主的な挨拶・時間の遵守の他に、相手を思いやる心を育てることを重点項目としている。挨拶はほぼ全利用者が出来ているが、今後は自発的に挨拶が出来るよう取り組んでいきたい。時間遵守に関しては昨年度同様朝の会やお昼ご飯、帰りの会に出る時間が守れない利用者がおり、時間を守る人と守れない人との差が年々大きくなっているように感じる。作業の開始時間・掃除時間など全員が同じタイミングで取り組めるよう支援していきたい。

思いやりに関しては利用者のほとんどが他利用者のことを気にかけ、良い雰囲気で生活ができていると感じられる一方、他利用者のことを気にせずマイペースで生活している利用者も何名か見られる。自分だけではなく他利用者のことも考えられるよう啓発していきたい。

今年度も昨年に引き続き職員・利用者でインフルエンザにかかる人が１人もいなかった。これについては大変すばらしいことだと考える。１２月からはマスクの着用を促し、冬期間はうがい・手洗いの徹底を励行することでインフルエンザにならなかったと思われる。ただ、確実に利用者の体力は落ちてきていると感じることが多くなってきたためこれまで以上に利用者の体調面に気をつけて支援していきたい。

（１）しいたけ事業

担当：植田善久

【年間作業収入　１１，６１９，７８３円】（税抜き　１０，７５９，０５８円）

栽培菌種	入荷菌床数	入荷時期	発生期間
北研 705 号	5300 菌床（Ｄ）	平成 30 年 5 月	平成 30 年 8 月～令和元年 5 月
北研 607 号	3700 菌床（１号）	平成 30 年 9 月	平成 30 年 12 月～令和元年 8 月
北研 607 号	4600 菌床（２号）	平成 30 年 12 月	平成 31 年 3 月～令和元年 11 月
北研 607 号	4000 菌床（Ｂ）	平成 31 年 12 月	平成 31 年 3 月～令和元年 12 月

※Ａハウスは３０年度内入荷なし。
平成 30 年度　　発生菌床合計数　21000 菌床
平成 31 年度　　入荷菌床合計数　19000 菌床

○内容及び次年度への課題

平成３０年度のしいたけ売り上げ金額は、１菌床あたり８３６円と昨年度より７７円ほど下回った。

原因としてハウス新築及び増築による環境の変化や計画の変更により収穫量が低下した事があげられる。新しい環境でのしいたけ栽培については計画も含め、初のことなので３１年度は試行錯誤をしながらしいたけの収穫量を安定させていきたい。

また取引先であるレストランＰｏｍｍｅ・城東保育園・カリフラワーからの注文がなくなったり、あいのり温泉は生しいたけが日持ちしないため、ほぼ乾燥しいたけのみの注文になってしまったことも売り上げ減の原因と思われる。取引先のカブセンターのバイヤーの方からは、納品した生しいたけの品質低下が早いため乾燥して水分を飛ばしてから納品してもらえるよう依頼されている。品質低下の件については以前より、職員間でも検討事項に入っており、昨年１０月に見学に行った越戸きのこ園さんの社長にその件を聞いてみるとしいたけは温度差が一番品質低下の原因だと話されていたため夏場は冷蔵庫に入れない方が長持ちするとの情報があったので試してみようと思う。

今年もサンマッシュの全国大会に出品し、銅賞を受賞することが出来た。今回は１号ハウスの６０７号がほぼ収穫量がなかったため、入賞することが難しいと思いながらも出品してみたが、やはり結果として残念ながら入賞できなかった。７０５号の銅賞１つにとどまった。ただ、７０５号で入賞できたのは初めてのことなのでまた一歩前進できたように思う。引き続き来年も金賞を目指したい。

今年度は新しいハウスを２棟建築して菌床数も増えるため、今まで以上に利用者の負担が増える可能性も懸念される。安全面を最優先に考え、歩行に難がある利用者は今までの

ハウスで作業してもらう等配慮が必要になると思われる。　また、ハウス内の温度管理と湿度管理を徹底し、菌床玉にカビが発生しないように努めたい。

（２）花・野菜事業

担当：中畑　幸

大鰐中学校	１０，５００円
施設用　花	２，４００円
小計	１２，９００円
	（税抜き　１１，９４４円）

○内容及び次年度への課題

・今年度をもって、花野菜事業は終了とする。

〈Ⅲ〉－４　保健支援

①保健指導年間実施日

・定期健康診断（小山内医院で実施）

５／１４～６／１　・　１０／２

・身体測定（体温・血圧・体重）

４／１０・　５／７　・　６／４・　７／２　・　８／６
９／３　・　１０／１・　１１／５・　１２／６　・　１／７
２／１　・　３／４

・平成２８年１月から生活介護利用者対象で、毎月第１火曜日の午後に小山内先生の回診を実施している。

②保健日誌からのまとめと次年度の課題・方向付け

○事故や怪我などなかった。作業中の怪我を防止するためにも、作業場を含む周辺の整理整頓をし、危険がないよう安全な環境作りと支援をしていく。また、利用者の多くは、不調を訴えたり、健康に気を配ることや衣類調整が苦手なので、利用者からの細かなサインや変化を見逃さず早く気付いて、怪我や病気を未然に防げるよう支援していく。

○７月中旬から９月上旬まで、熱中症予防対策として利用者全員にクールネックとペットボトル１本を用意し、こまめに水分補給と適度な休憩を取りながら作業を行った。
その結果、熱中症や体調不良者はいなかった。今後も利用者の様子を注意深く観察しながら、熱中症予防していく。

○利用者・職員全員に手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を徹底し感染症予防に努めた。また、インフルエンザやノロウイルスが流行する前に自宅からのマスクの装着を

呼び掛けて、みんなでインフルエンザの予防に努めた。その結果、施設内でのインフルエンザ感染者はいなかった。インフルエンザ感染対策として、感染予防のためインフルエンザ流行の前にインフルエンザワクチン接種の呼び掛けをし重症化を防ぐ。流行時期には流行状況を把握しておく。喉の傷み、鼻水、咳、発熱など体調に変化があった場合には、家族の方と連絡を密にして、インフルエンザ感染を未然に防ぐ事に努めていく。

〇毎週火曜日(男子)生活介護利用者の入浴を実施している。状況に応じて生活介護利用者以外でも入浴を開放している。入浴した後は洗濯指導支援も行っている。自分の衣類を洗濯、干す、たたむ事を指導支援して本人の自立へと繋げている。今後も状況を見ながら、生活介護の方以外も危険のないよう入浴を行い、洗濯指導支援を継続していく。また、入浴は利用者の健康維持、清潔保持を目的とするだけではなく身体の異常の発見にも繋がることもある。入浴時は身体の観察なども行っていく。入浴の目的は様々あり利用者の障害に応じて､危険がないよう安全な方法で気持ち良く入浴支援を行っていく。なお、生活介護（女子）はグループホームでの入浴となったため、施設での入浴は必要に応じての対応となった。

〇５月に女子利用者５名の方が大鰐町の婦人科健診を実施している。婦人科健診の結果は異常なかった。病気など未然に防ぐためにも、健診や適度な運動や食事の取り方について、家族や医師、キャンパスの看護師や栄養士と連携を密にしながら指導し、体調管理に留意していく。

〇毎月第１火曜日の午後１時より、小山内医院の先生がキャンパスに来所して、生活介護利用者対象に回診が行われている。他の利用者については本人から希望があった時は診察を行っている。利用者の多くは不調を上手く訴える事が出来ない方もいる。先生の回診で、不調を早期に発見し対応出来るようにしていきたい。

〈Ⅰ〉－５　余暇活動支援

（１）行事等

実　　施　　日	行　　事　　名	実　施　場　所
平成３０年４月８日（土）	三者面談	ワークキャンパス大鰐
４月２２日（土）	花紙で作るらんたん	ワークキャンパス大鰐
５月１２日（土）	遠足	黒石・虹の湖光園
５月２６日（土）	弘前光園散策レク	弘前公園
６月１６日（土）	焼き肉もーもー	焼き肉もーもー
７月７日（土）	海を見に行こう	鰺ヶ沢町道の駅わんど
７月２１日（土）	ドライブレク	田舎館田んぼアート
８月４日（土）	流しそうめん	ワークキャンパス大鰐
８月１８日（日）	うちわ作り	ワークキャンパス大鰐
９月９日（日）	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
９月２９日（土）	果物狩りレク	森の中の果樹園
１０月１３日（土）	三者面談	ワークキャンパス大鰐
１０月２０日（土）	三沢航空科学館	三沢航空科学館
１２月１５日（土）	利用者忘年会	ホテルグランメール山海荘
平成３１年１月１２日（土）	宝探し	ワークキャンパス大鰐
１月２８日（土）	温泉レク	鰐 come
２月１６日（土）	口腔ケアレク	ワークキャンパス大鰐
３月２日（土）	バケツプリン	ワークキャンパス大鰐
３月１６日（土）	焼きそばパン作り	ワークキャンパス大鰐
３月３０日（土）	外食	スタミナ一番

○次年度への課題・方向付け

今年度の行事は就労Ｂ型と生活介護一緒の行事を企画した。当初、就労Ｂ型と生活介護を分けて行事を行うことを考えていたが、生活介護利用者自身が参加したいとの意向や年齢的に若い生活介護利用者の方も通所しているので、希望をとり参加したい利用者の方の参加ということとなった。

就労Ｂ型の利用者も身体機能が数名低下してきているので、安全面に配慮した行事を実施したいと考えている。

（２）利用者会活動

・利用者会全体会　　担当：中畑　幸

実施日	主な内容
平成３０年　４月　２日（月）	・チョコパイアレンジの感想 ・ミニどら焼き作りの感想 ・餃子作りの感想 ・三者面談について

	・２月３月頑張った人 ・平成２９年度の利用者会会長・副会長・書記の発表 ・平成２９年度の各委員会の発表
６月　４日（木）	・三者面談の感想 ・ランタン作りの感想 ・焼き肉モーモーの感想 ・４月５月頑張った人 ・社会科見学の希望を聞いている
８月　１日（木）	・焼き肉の感想 ・海を見に行こうの感想 ・田んぼアートレクの感想 ・６月７月頑張った人 ・ワークまつり利用者の出し物について ・利用者からの要望で作業室、調整場、乾燥しいたけの調整場にエアコンをつけて欲しい
１０月　１日（月）	・流しそうめんの感想 ・うちわ作りの感想 ・ワークまつりの感想 ・果物狩りの感想 ・８月９月頑張った人
１２月　５日（水）	・三者面談の感想 ・１０月１１月頑張った人 ・菌床入荷予定日について ・年末年始の休みについて
平成３１年　２月　１日（金）	・ＤＶＤ鑑賞の感想 ・利用者忘年会の感想 ・宝探しの感想 ・今月来月のレクの予定 ・１２月１月頑張った人 ・美化委員会よりお知らせ ・次年度の利用者会役員について希望を募った。

【行事委員会】　　担当：植田　善久

平成３０年　４月１１日（水）１５：００～１５：１５　委員会発足＆遠足行き先会議
平成３０年　４月２５日（水）１５：００～１５：１５　社会見学行き先会議
平成３０年　９月１０日（月）１５：００～１５：２０　忘年会行き先会議
平成３０年１０月　３日（水）１５：００～１５：２０　忘年会行き先会議
平成３０年１１月１４日（水）１４：４０～１４：５０　忘年会進行担当決め
平成３０年１１月２０日（火）１４：５５～１５：２０　今年度振り返りと次年度の行

事について

・行事委員会は委員会発足会議で、それぞれの役割を決めて一年会活動を行った。自分の役割を理解して積極的に動いていた。毎回、行事委員会の会議は、遠足や社会見学など行きたい場所に意見を述べることが出来ていた。
・行事委員会を通して、それぞれ声を掛け合って協力し協調性を養うことが出来た。

【お茶委員会】　担当：中平　恵美

・利用者の毎日のお茶や作業用のお茶の準備、休憩時のテーブル拭きやおやつの準備など各担当を決めて行った。
・毎日のお茶委員会を通して、責任感や自主性を養った。
・毎月末日にお茶委員会を昼休みに行い、毎週水曜日のおやつの計画を立て掲示した。
・毎月１回金曜日、布巾とカップをハイターに浸けて消毒実施。（１月～３月は風邪の流行も顕著なため、毎週ハイター浸け消毒を実施。）

月	日	曜日	内容	場所	備考
4	2	月	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　８名
4	１８	水	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
5	２５	金	お茶委員会	おやつ買い出し	利用者　５名
6	２１	水	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
7	１７	火	お茶委員会	おやつの買い出し	利用者　７名
8	２０	月	お茶委員会	おやつの買い出し	利用者　５名
9	２６	水	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
１０	３１	水	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
１１	２９	木	お茶委員会	おやつの買い出し	利用者　７名
1	１０	水	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
1	２５	金	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
3	１３	水	お茶委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名

【広報委員会】　担当：金枝　友和

・毎月月初めに広報委員会を開催し、当月の行事と作業予定を記載と掲示した。
・掲示物の張り出し・貼り替え等を行った。

月	日	曜日	内容	場所	備考
4	3	火	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　６名
5	1	火	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　８名
6	1	金	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　６名
7	2	月	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　６名
8	2	金	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　６名

9	3	月	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
１１	1	木	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　８名
１２	3	月	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　６名
1	4	金	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　７名
2	1	金	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　５名
3	1	金	広報委員会	ワークキャンパス食堂	利用者　５名

【美化委員会】　　担当：竹内　友紀

・２ヶ月に１度、委員会で掃除当番を決めた。
　みんな意見を出し合って決めることが出来た。
・８月にはホールと作業室の窓拭きなどの大掃除を協力しておこなった。
　他にも年３回、大掃除の場所を決めおこなった。
・加湿器や扇風機設置などのお手伝いをおこなった。
・花の鉢植えをおこない、曜日の当番を決め水やりをおこなった。（６～１０月頃まで）

【利用者会事業報告】

月	日	曜日	内　　容	場　　所	備　考
4	2	月	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者３０名
4	2	水	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
4	3	火	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　６名
4	3	火	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者２８名
4	8	土	三者面談	ワークキャンパス大鰐	利用者１６名
4	11	水	行事委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者１１名
4	21	土	花紙で作るらんたん	ワークキャンパス大鰐	利用者１４名
4	25	水	行事委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　５名
5	1	火	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
5	12	土	遠足	黒石・虹の湖公園	利用者２２名
5	22	火	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
5	25	金	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　５名
5	26	土	弘前公園散策レク	弘前公園	利用者１３名
6	1	金	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　６名
6	4	月	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者２７名
6	16	土	焼く肉レク	焼き肉もーもー	利用者２０名
6	21	木	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
6	29	金	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
7	2	月	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　６名
7	7	土	海を見に行こうレク	鰺ヶ沢町道の駅わんど	利用者１９名
7	17	火	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
7	21	土	ドライブレク	田舎館田んぼアート	利用者２３名

7	26	木	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
8	1	木	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者２９名
8	2	金	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　６名
8	4	土	流しそうめんレク	ワークキャンパス大鰐	利用者１９名
8	18	土	うちわ作り	ワークキャンパス大鰐	利用者１４名
8	20	月	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　５名
9	3	月	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
9	9	日	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐	利用者２２名
9	10	月	行事委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　６名
9	26	水	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
9	27	木	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
9	29	土	果物狩りレク	森の中の果樹園	利用者２１名
10	3	水	行事委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　４名
10	4	木	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者１９名
10	13	土	秋の三者面談	ワークキャンパス大鰐	利用者１５名
10	20	土	三沢航空科学館	ワークキャンパス大鰐	利用者２１名
10	31	水	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
11	1	木	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
11	14	水	行事委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　５名
11	26	月	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
11	29	木	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
12	3	月	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　６名
12	6	木	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者２７名
12	15	土	利用者忘年会	ホテルグランメール山海荘	利用者２４名
1	4	金	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
1	12	土	宝探し	ワークキャンパス大鰐	利用者１７名
1	17	木	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
1	25	金	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
1	28	土	温泉レク	鰐カム	利用者１９名
2	1	金	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　５名
2	1	金	利用者全体会	ワークキャンパス大鰐	利用者１９名
2	16	土	口腔ケアレク	ワークキャンパス大鰐	利用者１５名
3	1	金	広報委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　５名
3	2	土	バケツプリン	ワークキャンパス大鰐	利用者２０名
3	4	月	美化委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　８名
3	13	水	お茶委員会	ワークキャンパス大鰐	利用者　７名
3	16	土	焼きそばパン作り	ワークキャンパス大鰐	利用者２０名
3	30	土	外食（ラーメン)）	スタミナ一番	利用者１８名

〈Ⅳ〉給食

担当：山口美香

①平成３０年度　給食指導　　対象者　　男　３名　　女　７名　　計　１０名

指　導　内　容	具　体　的　指　導　方　法	対象者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女２名 男２名
糖尿病対策	①食事療法。	女２名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女４名 男２名
食事の補助	①フォークの使用。	女１名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対して落ち着いてゆっくりよく噛んで食べ、
　口の中の物を飲み込んでから、新たに口に運ぶように声がけをしている。
　自分で出来る事はやってもらえるように声がけで見守るようにする。

②平成３０年度　年間行事食実施表

月	行　　事	献　　立　　名	実施日	備　　考
７	七夕	冷やしうどん	７月　６日	
９	十五夜	栗ごはん	９月１２日	
１０	いも煮会	米沢風いも煮	１０月　４日	
１２	冬至	かぼちゃのいとこ煮	１２月２０日	
１２	クリスマス	ｺｰﾝﾗｲｽ、ﾊﾝﾊﾞｰｸﾞ、ﾊﾟﾝﾌﾟｷﾝｽｰﾌﾟ、ｾﾞﾘｰ(ｵﾚﾝｼﾞ)	１２月２５日	
３	ひなまつり	ちらし寿司	３月　１日	

③平成３０年度　郷土食　　年２回　実施。
④平成３０年度　嗜好調査　　３ヶ月に１回　計４回　実施。
⑤平成３０年度　給食だより　３ヶ月に１回　計４回　発行。

まとめ・反省

・野菜の残食が減ってきているので、維持していきたい。
・全体的にも残食が減っているので、維持していきたい。
・郷土食を身近なメニューを取り入れて、増やしていきたい。
・個人の年齢、体調に考慮して、主食の量の調整していきたい。
・平成３１年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。また、今年度も調味料のかけ過ぎと、よく噛んで食べるを目標にしていきたい。

〈Ⅴ〉防災

防火管理者：植田善久

実施状況　キャンパス

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
５／２２	部分訓練	14:15 ～ 14:30	地震	震度６	駐車場	２分４８秒
９／２７	総合訓練	11:10 ～ 11:20	火災	医務室	駐車場	２分５３秒
３／７	総合訓練	11:10 ～ 11:25	火災	食堂	玄関前	２分４５秒

さくら

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
６／１２	総合訓練	19:00 ～ 19:30	火災	居室３	玄関前	２分２８秒
９／１９	総合訓練	18:30 ～ 19:00	火災	居室６	玄関前	２分２３秒

あやめ

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
７／１０	総合訓練	18:30 ～ 19:00	火災	居室３	玄関前	２分１３秒
１０／１０	総合訓練	6:30 ～ 6:45	火災	脱衣室	玄関前	２分３３秒

・点呼時返事を大きくするように（利用者）
・おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない）
・消化・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。（職員）
・１０月の総合訓練時、消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。

次年度への課題、方向付け

・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。
・放送機器の取り扱いと順序をしっかりと覚える。
・グループホームの火災報知器の取り扱い方の確認。（特にさくら）

〈Ⅵ〉広報（担当：田中大生）

１　広報誌「阿闍羅」（担当：山口美香、田中大生、幸山稚子、鎌田健司、石戸谷健）

（１）内容

ア　第１５号　平成３０年９月発行

　　１面　施設長あいさつ、しいたけ全国銀賞、

　　２面　利用者工賃向上への取り組み、しいたけ事業拡大、グループホーム紹介　他

　　３面　行事（桜まつり、遠足）、地域に向けた研修会の実施　他

　　４面　法人決算報告

イ　第１６号　平成３１年２月発行

　　１面　永年勤続表彰式、公開研修

２面　ワークまつり、行事（宿泊訓練、忘年会）、ノウフクマルシェ開催

（２）次年度への課題

平成３０年度は、年２回の発行ができた。しかし、予定した６月と１２月に発行できなかった。令和元年度は、タイムリーに発行できるようにすることにより、行事や事業の報告だけでなく、「ノウフクマルシェ」や、「ワークまつり」などのイベント開催の告知にも広報紙を活用できたらと考える。また、利用者の広報委員会からの記事や、職員のコラムのようなものにもチャレンジしてみたい。

２　ホームページ（担当：三上拓雄、田中大生、中嶋綾子、山内彩子）

（１）内容

更新できていない。

（２）次年度への課題

ホームページの更新の仕方の勉強会を実施し、更新することができる職員の育成をする。

３　その他の広報（担当：金枝友和、田中大生、山川裕紀子）

（１）大鰐文化協会総会等に出席

４月１９日（木）：文化協会総会　　大鰐町中央公民館
８月　９日（木）：文化協会理事会　大鰐町中央公民館
１０月１２日（金）：文化協会理事会　大鰐町中央公民館
１１月２７日（火）：文化協会反省会　大鰐町中央公民館

（２）大鰐町民文化祭への参加

平成３０年１１月２日（金）～４日（日）に大鰐町中央公民館で開催された大鰐町民文化祭に作品を展示。

（３）地域のまつり等へ参加

共同受注窓口を中心に、施設紹介を含め、生産物の紹介及び展示即売をしながら参加した。

「参加状況」

・大鰐温泉つつじまつり
・各施設のまつり
・農福連携マルシェ
・鰐 come 祭り
・まるごと大鰐商人市
・もったいない広場＆ふくしマルシェ

〈Ⅶ〉 会議

〈Ⅴ〉－１　会議開催状況

１　連絡調整会議　　担当：田中大生

開催日	構成員	会議内容
４／　５、　５／１７、　６／１８	施設長	・事業計画等の検討

７／１２、　８／１０、　８／１７ ９／１３、１０／１１、１１／　６ １２／１７、　１／１７、　２／１９ ３／１４	課長 主任	・法人自己評価検討 ・各規程等の見直し ・研修、次月の行事予定確認 ・処遇改善等に関する検討 ・GH 運営等の検討　　等

２　事業会議　　担当：相馬良子、山中司

開催日	構成員	会議内容
４／１２、５／２４、６／２１ ７／１９、８／２３、９／２０ １０／１８、１１／１５、１２／ ２０、１／２４、２／２１、３／ １９	阿闍羅会 全職員	・行事日程 ・作業予定 ・収支報告 ・職員体制について ・事業展開について　など

３　給食会議　　担当：山口美香

開催日	構成員	会議内容
４／１２、５／２４、６／２１ ７／１９、８／２３、９／２０ １０／１８、１１／１５、１２／２ ０、１／２４、２／２１、３／１９	阿闍羅会 全職員	・給食業務、内容の協議 ・思考調査の検討 ・調理、味付けの工夫等の検討 ・利用者給食指導の内容報告と検討

４　ケース会議　　担当：中平恵美

開催日	構成員	会議内容
４月２１日（土）	全職員	めだかの会報告、研修報告、支援計画　他
５月　９日（水）		ケースカンファレンス、春の健康診断　他
６月　６日（水）		めだかの会報告、ケースカンファレンス　他
７月　４日（水）		ケースカンファレンス、ヒヤリハット　他
８月　１日（水）		めだかの会報告、ケースカンファレンス、現場体験実習について、ケース記録　他
９月　５日（水）		ケースカンファレンス、研修報告　他
１０月　３日（水）		めだかの会報告、現場体験実習について、研修報告、モニタリング、個別能力評価、支援計画　他
１１月　７日（水）		研修報告、三者面談報告、支援計画　他
１２月　５日（水）		めだかの会報告、ケースカンファレンス、利用者行事について　他
１月　９日（水）		ケースカンファレンス、研修報告、事業計画作成について　他
２月　６日（水）		ケースカンファレンス、工賃評価について、書類整理について　他
３月　６日（水）		めだかの会報告、ケースカンファレンス研修報告、三者面談について　他
３月２７日（水）		工賃評価について、モニタリングについて　他

５　グループホーム関係者会議

開催日	回数	主な会議内容	構成員
５月２４日（木） ７月１９日（木） ９月２７日（木） １１月２４日（木） １月２４日（木） ３月２０日（木）	第１回 第２回 第３回 第４回 第５回 第６回	・GH 利用状況・利用者の状況 ・各伝達事項・確認事項 ・ミニ研修 法人基本理念（倫理綱領・職員行動規範）について ヒヤリ・ハットについて 対人援助の基礎について 障害者理解について 病気予防・受動喫煙防止　　等 ・各 GH 毎の話し合い	施設長 課長 主任 サービス管理責任者 栄養士

〈Ⅷ〉 研修

担当：田中大生

1　研修等参加（実施）状況

【県社協・保健大学　主催研修】

実施日	研修名	場所	参加者
5月22日	障害児・者福祉施設新任職員研修	青森県立保健大学	石戸谷健
6月7日 ～　6月8日	職場研修担当者研修	ウエディングプラザアラスカ	佐藤直幸
6月28日	社会福祉施設職員経理研修	青森県立保健大学	田中大生、三上拓雄、相馬良子
7月6日	栄養、食育マネジメントセミナー	青森県立保健大学	山口美香、三浦節美
8月23日	改正個人情報保護法・労務管理セミナー	福祉プラザ	三上拓雄、相馬良子
8月23日	中堅・指導的職員研修	青森県立保健大学	鎌田健司
8月27日　8月28日	中堅・指導的職員研修	青森県立保健大学	鎌田健司
9月7日	人権倫理委員会研修会	青森県立保健大学	佐藤直幸
10月27日	社会福祉トップセミナー	青森県立保健大学	白石安英
12月25日	虐待防止・権利擁護研修（従事者向け）	リンクステーションホール青森	山内彩子
12月26日	虐待防止・権利擁護研修（管理者向け）	リンクステーションホール青森	白石安英
1月23日	離職防止環境整備研修	ウエディングプラザアラスカ	中嶋綾子
2月19日	メンタルヘルス研修	ウエディングプラザアラスカ	佐藤直幸、田中大生
			計18名

【知的障害者福祉協会　主催研修】

実施日	研修名	場所	参加者
7月2日 ～　7月3日	全国知的障害関係施設長等会議	東京国際フォーラム	佐藤直幸、白石安英
9月30日	青森県手をつなぐ育成会合同研修	県民福祉プラザ	田中大生
11月8日 ～　11月9日	青森県知的障害者福祉協会職員・利用者研修会 東北地区知的障害者福祉協会職員研修会	ホテル青森	金枝友和、工藤春貴、三浦拓也 白石安英、石戸谷健、吹田公伸
2月6日	虐待防止研修会（実践コース）	弘前市社会福祉センター	田中大生、山中司、鎌田健司
2月25日	生産活動・就労支援部会職員研修会	県民福祉プラザ	植田善久、鎌田健司
			計14名

【青森県・市町村　主催】

実施日	研修名	場所	参加者
9月20日	大鰐町多職種連携研修会（口腔ケア）	大鰐町役場　議場	山内彩子、竹内友紀、木田繁子
11月2日	農福連携促進セミナー	青森国際ホテル	田中大生、（鎌田健司　欠席）
1月28日	大鰐町6次産業化実践セミナー	大鰐町中央公民館	山内彩子
			計5名

【阿闍羅会　主催研修】

実施日	研修名	場所	参加者
4月26日	職員スキルアップ研修　第1回	ワークショップ大鰐	21名
5月31日	第1回　ルーキー研修	ワークショップ大鰐	10名
6月23日	自動車安全運転研修	ワークショップ大鰐	31名
6月28日	第1回　ベテラン研修	ワークショップ大鰐	23名
7月26日	第2回　ルーキー研修	ワークショップ大鰐	15名
8月30日	第2回　ベテラン研修	ワークショップ大鰐	9名
9月27日	第3回　ルーキー研修	ワークショップ大鰐	8名

10月25日	第3回　ベテラン研修	ワークショップ大鰐	14名
11月22日	職員スキルアップ研修　第2回	ワークショップ大鰐	36名
12月27日	第4回　ルーキー研修	ワークショップ大鰐	13名
1月12日	虐待防止研修	ワークショップ大鰐	27名
1月31日	職員スキルアップ研修　第3回	ワークショップ大鰐	12名
2月28日	第4回　ベテラン研修	ワークショップ大鰐	15名
			計234名

【その他研修】

実施日	研修名	場所	参加者
5月21日	中小企業家同友会　津軽支部5月例会	弘前市総合学習センター	白石安英、田中大生
5月29日	安全運転管理者講習	大鰐町総合福祉センター	田中大生
6月7日	衛生管理者委員会研修	サンライフ弘前	三上拓雄
6月22日	安全衛生大会	ホテルクラウンパレス青森	山内彩子、山川裕紀子、三上拓雄、相馬良子
7月4日	サンマッシュ夏期セミナー、通常総会	JAふるさとシャイニーパレス	植田善久
7月19日	サンマッシュ夏期セミナー	ひばり野スポーツ交流センター	中畑幸、金枝友和、鎌田健司
7月30日	第40回青森県きのこ品評会表彰式	森林組合会館	中畑幸
8月22日	鰐come産直の会視察研修会	観光農園あぐりの里おいらせ	山中司
9月14日	中小企業家同友会　津軽支部9月例会	鰐come	白石安英、田中大生
10月6日	久慈　越戸きのこ園　見学研修	越戸きのこ園	秋元広光、二川原一男、佐藤直幸 植田善久、金枝友和、三上拓雄、田中大生
10月7日	障害のある人のライフプランセミナー	鰐come	白石安英、田中大生
11月3日	親亡きあとの相続に関する勉強会	弘前市社会福祉センター	中平恵美、中畑幸、木田繁子 三浦江利子、白石安英、田中大生
11月20日	社会福祉簿記研修	盛岡アイーナ	相馬良子
11月24日	オンブズマンネットワークセミナー	アップルランド	19名
1月29日 ～　1月30日	全国サンマッシュ生産協議会　全国大会	ホテル東日本宇都宮（栃木県）	植田善久、金枝友和
2月14日	第99回社会福祉会計・経営セミナー	盛岡アイーナ	三上拓雄、相馬良子
2月27日 ～　2月28日	防火管理講習	岩木文化センター	三上拓雄、金枝友和
3月26日	北研　春期視察研修会	南三陸ホテル観洋	山内彩子、金枝友和
			計59名

【総会・会議　等】

実施日	会議名	場所	出席者
4月13日	まるごと大鰐商人の会　会議	日景食堂	田中大生
4月15日	弘前市手をつなぐ育成会　総会	弘前市社会福祉センター	佐藤直幸、白石安英
4月16日	鰐come産直の会　総会	鰐come	佐藤直幸、鎌田健司
4月19日	大鰐町文化協会　総会	大鰐町中央公民館	金枝友和
4月19日 ～　4月20日	青森県知的障害者福祉協会　総会	弘前パークホテル	佐藤直幸、白石安英
4月24日	つつじまつり出店説明会	大鰐町中央公民館	田中大生
4月25日	大鰐町農業再生協議会　幹事会	大鰐町役場	田中大生
4月26日	大鰐温泉観光協会　総会	大鰐町中央公民館	田中大生
5月9日	大鰐町農業再生協議会　総会	大鰐町役場	田中大生
5月21日	弘前自閉症児者親の会　総会	弘前市社会福祉センター	佐藤直幸
5月23日	安全運転管理者協会　総会	青森ワイナリーホテル	田中大生
5月25日	さくらジョブネット　総会	フォルトーナ	佐藤直幸、白石安英、田中大生
6月5日	鰐come業者協力会「鰐の会」　役員会	鰐come	田中大生
6月19日	大鰐温泉つつじまつり　反省会	大鰐町中央公民館	田中大生、石戸谷健
6月24日	青森手をつなぐ育成会　総会	福祉プラザ	白石安英
6月26日	SELP協総会（全国大会出店説明会）	ワ・ラッセ	田中大生、石戸谷健
6月26日	ひろネットオンブズマン委員会　総会	弘前市総合学習センター	佐藤直幸、白石安英
7月4日	津軽障害者就業・生活支援センター連絡協議会	ラグリー	田中大生
7月4日	鰐come業者協力会「鰐の会」　総会	鰐come	田中大生

8月22日	ひろネットオンブズマンセミナー実行委員会	ヒロロ	佐藤直幸、山川裕紀子
9月3日	「人・農地プラン」見直しに関する座談会	大鰐町役場	田中大生
9月18日	ふれあい広場　反省会	大鰐町総合福祉センター	山内彩子
9月20日	黒石養護学校　学校公開	黒石養護学校	山川裕紀子
9月24日	まるごと大鰐商人の会　会議	日景食堂	田中大生
10月12日	大鰐町文化協会理事会	大鰐町中央公民館	金枝友和、山川裕紀子
10月17日	まるごと大鰐商人の会　総会	鰐come	白石安英、田中大生
10月30日	大鰐町子ども子育て会議	大鰐町役場	田中大生
11月26日	大鰐町社会福祉大会	大鰐町総合福祉センター	佐藤直幸
11月27日	大鰐町文化協会理事会	大鰐町中央公民館	金枝友和、山川裕紀子
12月5日	津軽障害者就業・生活支援センター連絡協議会	ラグリー	鎌田健司
12月13日	黒石養護学校　進路指導講話　講師	黒石養護学校	白石安英
12月14日	弘前市松原小学校学校運営協議会	松原小学校	白石安英
1月9日	新年互例会	大鰐町中央公民館	秋元広光、白石安英
1月15日	大鰐町地域福祉計画策定委員会	大鰐町役場	田中大生
1月17日	工賃向上支援協議会担当者連絡会議	青森県庁　東棟4階B会議室	田中大生、鎌田健司
1月24日	大鰐町農業再生協議会　幹事会	大鰐町役場	田中大生
1月30日	大鰐町社会福祉協議会　評議員会	大鰐町総合福祉センター	白石安英
~~1月30日~~	~~人・農地プラン　見直し座談会~~	~~鰐come~~	~~田中大生~~
2月4日	大鰐町子ども子育て会議	大鰐町役場	田中大生
2月7日	弘前市松原小学校ゲストティーチャー	松原小学校	白石安英
2月8日	大鰐町農業再生協議会　総会	大鰐町役場	田中大生
2月25日	弘前市松原小学校学校運営協議会	松原小学校	白石安英
2月27日	さくらジョブネット　福祉施設合同説明会	ヒロロ	中嶋綾子
2月28日	大鰐町地域福祉計画策定委員会	大鰐町役場	田中大生
~~3月15日~~	~~弘前大学教育学部附属特別支援学校卒業式~~	~~弘前大学教育学部附属特別支援学校~~	~~佐藤直幸~~
3月15日	青森県立黒石養護学校　卒業式	青森県立黒石養護学校	白石安英
3月18日	大鰐町子ども子育て会議	大鰐町役場	田中大生
3月19日	障害福祉サービス事業者集団指導	リンクモア平安閣市民ホール	佐藤直幸、白石安英、他6名
3月22日	大鰐町社会福祉協議会　評議員会	大鰐町総合福祉センター	白石安英

※　平成３０年度　　研修参加件数　　５２件

研修参加人数　　延べ３３０名

総会会議等出席件数　　４７回

〈Ⅸ〉 苦情解決

（１）施設担当職員

苦情解決責任者　　施設長　　佐藤直幸

苦情受付担当者　　支援課長　中平恵美

（２）第三者委員

ひろさき地域福祉ネットワーク・オンブズマン委員会（ひろネット）

訪問委員　村上栄子、工藤昌子　（２名）

（３）訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
４／１６	村上、工藤	３名の利用者と面談　特に問題なし
５／１５	村上、工藤	３名の利用者と面談　特に問題なし
６／１９	村上、工藤	２名の利用者と面談　特に問題なし
７／２３	村上、工藤	３名の利用者と面談　特に問題なし
８／２０	村上、工藤	３名の利用者と面談　特に問題なし

９／２０	村上、工藤	３名の利用者と面談　特に問題なし
１０／２３	村上、工藤	６名の利用者と面談　特に問題なし
１１／２０	村上、工藤	４名の利用者と面談　特に問題なし
１２／１７	村上、工藤	６名の利用者と面談　特に問題なし
１／１１	村上、工藤	７名の利用者と面談　特に問題なし
２／２７	村上、工藤	６名の利用者と面談　特に問題なし
３／２８	村上、工藤	４名の利用者と面談　特に問題なし

〈Ｘ〉 地域生活支援

（１）グループホームあやめ

①住居　定員６名、現員６名（平成３１年３月３１日現在）

利用者内訳　（就労継続支援Ｂ型６名）

（区分２：４名　区分３：１名　区分４：１名）

②食事　メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。

健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

③地域との関わり

町内の行事であるねぷた祭り、宵宮等に参加している。

温泉地であり公衆浴場を利用して住民との会話が増えている。

④内容及び次年度への課題

世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。

バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。

（２）グループホームつつじ

①内容及び次年度への課題

平成３０年１０月３１日事業廃止。

（３）グループホームさくら

①住所　定員６名、現員４名（平成３１年３月３１日現在）

利用者内訳　（就労継続支援Ｂ型２名、生活介護２名）

（区分３：２名、区分４：２名）

②食事　メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。

健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

③地域との関わり

開所したばかりという事で地域との関わりはあまりなかったように感じる。

開所する前に事前に地域住民へ説明をし、協力を得た。

④内容及び次年度への課題

・世話人が研修等に参加して、より質の高い支援を求めていく。
利用者の生活の安定をはかり、住みやすい環境を作っていく。
・地域との関わりがあまりなかったので、地域貢献出来るような事を考えていく。

〈XI〉共同受注窓口

担当：田中大生

1　「津軽地区障害者就労継続支援事業所共同受注窓口　ふらわーずぶるーむ」

平成３０年度は催事への参加日数、売上共に昨年を上回った。また、さくら野で開催した「ノウフク連携マルシェ」も昨年を上回る集客数、売上になったので、次年度も継続したい。

また、各催事にワークショップ大鰐の職員全員が携われたことで、どの催事でも出店の対応ができる体制ができた。

昨年同様、委託販売を主として活動している為、各参画施設の食料品を販売するに伴い賞味期限を見越した商品発注など難しい課題が継続して残っている。

平成３０年度の新たな取り組みとして、「中南地区障害者就労施設工賃向上支援協議会」を実施している。

（１）月別催事売上

「４月」	１４，２０４円	「１０月」	２５，７０５円
「５月」	１８１，６４２円	「１１月」	２０，９５０円
「６月」	３８，５０６円	「１２月」	８，３６０円
「７月」	２６，２０５円	「１月」	９，２９０円
「８月」	１５，２９８円	「２月」	１７，１１０円
「９月」	１９，８７５円	「３月」	１７７，７４６円

（２）年間催事売上　　５５４，８９１円

（３）参加催事

「４月」	２２日	もったいない広場＆ふくしマルシェ
「５月」	１９日～２３日	大鰐温泉つつじまつり
	２７日	まるごと大鰐商人市
「６月」	２日～３日	まるごと大鰐商人市
	２４日	もったいない広場＆ふくしマルシェ
「７月」	８日	りんどう苑夏まつり
	１２日～１３日	社会就労センター協議会（SELP 協）全国大会
	１５日	つきみのまつり
「９月」	２日	茜まつり
	１５日	アップルまつり
	１５日～１６日	ノウフクマルシェ

「１０月」２１日　　復興支援フェア
　　２７日　　もったいない広場＆ふくしマルシェ
　　２９日　　青森県社会福祉大会
「１１月」１８日　　もったいない広場＆ふくしマルシェ
　　２４日～２５日　　大鰐温泉もやしフェスタ
「１２月」　８日　　もったいない広場＆ふくしマルシェ
「１月」　１２日　　もったいない広場＆ふくしマルシェ
「２月」　２３日　　もったいない広場＆ふくしマルシェ
「３月」　２３日　　もったいない広場＆ふくしマルシェ
※　計２０回　延べ２８日間

２　中南地区障害者就労施設工賃向上支援協議会（中南地区工賃アップ協議会）
（１）開催日及び参加者数
第１回　平成３０年　７月３０日（月）　２５名
第２回　　１０月　２日（火）　２６名
第３回　　１１月２９日（木）　２０名
第４回　平成３１年　１月３１日（木）　２３名
第５回　　３月　８日（木）　２０名
（２）開催場所
弘前市社会福祉センター　２階　大会議室

３　次年度への課題
引き続き各催事には積極的に参加し、当法人商品はもとより参画施設を含めた当事業としての売上向上を計りたい。
また、平成３０年度は「中南地区障害者就労施設工賃向上支援協議会」を実施し、他施設や自治体との意見交換ができた。令和元年度「中南地区工賃アップ協議会」の取り組みとして、市町村庁舎及び市町村管理施設の活用による販売や、市町村が開催する各種イベントに使用する記念品受注及び販売ブースの確保及びその役務受託や、市町村広報誌等を使った製品販売のＰＲ要請。また、商工会及び商工会議所を通じた各企業への障害者の就労に関するアンケートの実施とその結果をふまえ、就労や工賃向上につなげるための話し合いを行いたい。

〈Ⅻ〉安全巡視（虐待防止委員会）

担当：佐藤直幸

（１）安全巡視実施日

実施日	担当者	実施内容
８／１０	中平恵美・田中大生	法人事業所全部を訪問し

９／１８	竹内友紀・山内彩子	注意箇所を点検、事業会議で報告し検討する。
１２／１９	植田善久・中嶋綾子	
３／１４	鎌田健司・三上拓雄	

今年度は３ヶ月に１回、キャンパス・ショップより各１名ずつ選出し実施した。前年度より改善箇所が少なくなっており、環境の整備がはかられてきたように感じる。

引き続き環境の整備の確認をしていきたいと思う。

（２）虐待防止委員会実施日

実施日	参加者	実施内容
３／１１	理事長・佐藤施設長・白石施設長 キャンパス親の会長　浅利金利 オンブズマン　村上英子・工藤昌子	平成３０年度の虐待に対する取り組み等を報告、検討をした

・今年度の虐待防委員会実施はマニュアル通りに実施、これにより役割を大きく変更した。虐待防止員会としてキャンパス親の会会長と第三者委員としてオンブズマン委員に参加してもらい、虐待防止に関しての取り組みの報告と検討をした。